街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１５３号

平成２７年（２０１５）１２月発行

発行・事務局
◎ 荏原第一地域センター ◎
小山 3-22-3（〒142-0062）
tel ３７８６－２０００
fax ３７８６－５３８５

満喫、スクエア荏原でスポーツの秋！

青少年対策荏原第一地区委員会は10月31日（土）、初秋の企画として「荏原第一地区委員会のはだしで遊ぶエバリンピック」をスクエア荏原の２階アリーナで実施しました。

午前９時半、受付を済ませた子どもたちに様々な色のハチマキが配られました。

開会式が開かれ、坂下会長、宮尾所長の挨拶、ルール説明が行われ、さっそくゲームがスタートしました。ハチマキの色別で５チームに分かれ、「キャッチ」「他己紹介」。張していた体と心をほぐし、となにいる友達と仲を深めます。

次にチーム対抗で「進化ジャンン」「しっぽ取り」「ハワイアンレー」「みこしリレー」を行いました。

「しっぽ取り」は夢中でアリーを走り回って、しっぽを取ったりられたり白熱の３分間でした。

「ハワイアンリレー」はチーム横１列に並んだ状態で手をつなぎす。全身を使って１個のレイを最の人まで送っていきます。身体の軟性はもちろん、頭の柔軟性、チムワークが試される競技です。

「みこしリレー」は穴の開いた聞紙の上にのったピンポン玉を落さずに運びました。素早く慎重にみんなの思いもつないでいきます最後の種目ということもあり、応する声にも熱が入り、アリーナはいに盛り上がりました。参加者51が町会や年齢を超えて、楽しい時を過ごしました。

（事務局　石井恒男）

みこしリレーを楽しむ子どもたち

花めぐり

カネノナルキ（カゲツ）

漢字を当てると「金のなる木」。ついつい欲が出て手を伸ばしてしまいますね。その由来は、葉の形が丸くてお金に似ているから、とか、園芸で、新芽に５円玉を通して売られているから、など諸説ありますが、本当のところは分からないようです。別名で「カゲツ（花月）」とも呼ばれています。カネノナル木に比べ、なんと風流な呼び名でしょう。

後地交差点から京栄会通りを行き、右手のコーヒー店の手前の路地を曲がるとすぐ右手のお宅に、このカネノナル木があります。三つほどの鉢に植えられ、つややかな厚ぼったい緑色の葉を茂らせています。背丈は１メートルほどでしょうか。これだけでも観葉植物として楽しめますが、真冬に咲く花がかわいらしいです。小さな星の形をしていて茎の頂点に密に咲き、花びらの先端をピンクに染めた白色や淡いピンク色を多く見かけます。

（広報委員　石井恒男）

一酸化炭素中毒にご注意

12月に入り一段と寒くなってきて、暖房器具などの火器を頻繁に使う機会も多くなるのではないでしょうか。しかし、それらを適正に使用しないと、一酸化炭素中毒となる可能性があります。特に使用頻度の高い12月から2月にかけて多く発生する傾向にあります。

一酸化炭素は、無色無臭で人体に有毒な気体です。濃度によっては死に至る危険性もあることから、十分な注意が必要です。東京消防庁管内では、平成22年から平成26年の5年間で、住宅における一酸化炭素中毒事故が59件発生し、96人が救急搬送されています。

【事故事例】

・暖房用として室内で練炭を焚き、そのまま寝込んでしまい、一酸化炭素中毒となった。

・木炭により釜の水を沸かしてお茶会をしていたところ、室内の換気が不十分で気分が悪くなった。

・自宅のリビングでアウトドア用の炭火バーベキューコンロにて焼肉をしていたところ、一酸化炭素中毒になり倒れて救急要請となった。

【事故防止のポイント】

・十分な換気を行う

室内を換気することにより一酸化炭素濃度が下がることから、火器を使用する際は、換気扇の使用や定期的な窓の開放など、換気に配慮しましょう。

・定期的な点検と清掃を行う

一酸化炭素中毒は不完全燃焼により発生することから、そうならないためにも火器の定期的な点検と清掃を行いましょう。

・使用方法を守る

発電機やバーベキューコンロなど屋外での使用が想定されている火器は、屋内では使用せず、適切な場所で使用しましょう。

（荏原消防署小山出張所）

街角ウォッチング

後地の地名

現在の後地交差点

地名の由来というのは、①地形や土地の特徴を表したもの、②命名者の願望や思想を込めたもの、③行政側が便宜的に付けたもの、などがあるようですが、信頼できる文献に残されているものや、明らかに地形を思わせるもの、などを除くと諸説あって、本当のところは分からない、というものが多いようです。

「後地」についても、いろいろ文献をひもといてみましたが、決め手になるような由来を探し当てることは叶いませんでした。

弘治２年（１５５６）に著わされた『新編武蔵風土記稿』には、戸越の項に「戸越は、後地、平塚、雁間辻、中通、八幡前、田向、東等の小字より成る」と、「後地」の地名が見受けられます。明治４２年（１９０９）作成の地図には戸越東、田向、八幡前、戸越中通、平塚、雁間、戸越後地といった字名が記されています。ここで一つ思い当たるのは、明治時代まで戸越村の総鎮守であった戸越八幡神社の存在です。この神社を中心として村が広がり、字名がつけられた…。これで見ると、後地は神社の一番北（後ろ）の地に位置しています。

もう一つは、朝日地蔵尊が建つ後地交差点です。かつて地蔵尊は交差点の反対側に安置されていました。この交差点は、目黒不動尊へ続く道と円融寺へ至る「碑文谷道」との分岐点で、「すす団子の辻」などと呼ばれ、大いに賑わったといいます。

「後地」は、この賑わう辻の裏手（後ろ）一帯に位置していることに由来する、という説なのですが…。

（広報委員　石井恒男）

◎各ご家庭に配布しております。１部ずつお取り下さい。 次号『まちかど』は、１月１９日(火)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

古紙を配合した紙を使用しています